

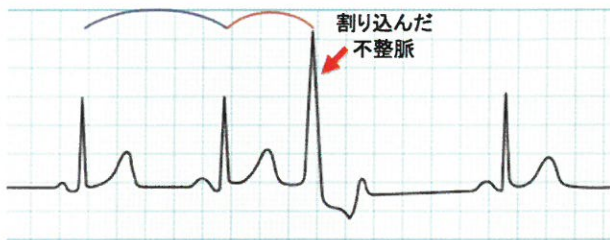
## 胸のドキドキ、めまい、ふらつき、大丈夫ですか？ ～不整脈の最新アブレーション治療について～

循環器内科副部長 鈴木 篤

### 不整脈ってなに？

突然ですが“不整脈”ってなんだかわかりますか？『脈の乱れ！』正解です！でも、それだけではないんです。脈が乱れていない不整脈もあるのです。『すごく速い脈、すごく遅い脈』などがそうです。そういわれても、なかなかピンときませんね。

では、症状を考えてみましょう。みなさんは緊張したときに胸がドキドキ、心臓がバクバクすることがあると思いますが、緊張もなく怖くも嬉しくもないのに、勝手に胸がドキドキ(動悸といいます)することがあれば、それは“不整脈”である可能性が高いのです。また、『めまい』や『ふらつき』、ときには『失神』を起こしたり、『息苦しさ』・『胸の痛みや圧迫感』を感じたりする不整脈もあります。このように、不整脈は様々な症状を起こします。そして不整脈の種類によっては、『突然死』を起こしたり、『脳梗塞』や『心不全』を起こして命の危険にさらされたりすることもあるのです。

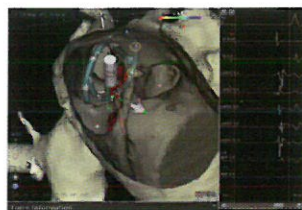


### 不整脈の種類は？

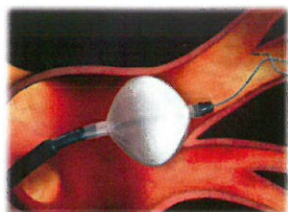
このように、いろいろな症状を起こしうる不整脈ですが、種類もたくさんあります。主な不整脈をいくつか挙げてみましょう。

#### ① 心房細動

脈が不規則になって血栓を生じ、脳梗塞を起こす不整脈で、近年著名人に次々と起こり広く知られるようになりました。心房細動は心臓の機能が悪化し、心不全になることもあります。発症率も高く、高齢者の10人に1人は起こると考えられます。脈が速くなると『ドキドキ』、非常に遅くなると『めまい』・『ふらつき』を伴うことがありますが、症状の無い方も多いため、健康診断などで初めて見つかることもあります。脳梗塞や心不全にならないように、しっかりと治療が必要です。最近では当院でも行っているクライオアブレーションが注目されています。これは液体窒素の入ったバルーンで不整脈の通り道を約-50℃まで冷やし、低温やけどを起こして不整脈を阻止するもので、



3次元マッピングでの  
心房細動アブレーション治療

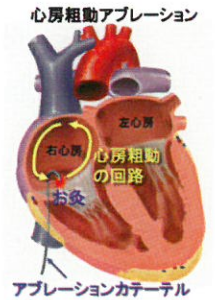


クライオバルーンによる治療

従来のカテーテルアブレーション治療に比べ、安定した治療効果が得られ、治療時間が格段に早くなりました。心房細動は早期に発見し、早期に治療することが大事ですので、心当たりのある方はいつでもご相談にいらしてください。

#### ② 心房粗動

心電図上ノコギリのような波形の鋸歯状波が特徴的な不整脈で、心房細動に似て脳梗塞や心不全を起こします。抗不整脈薬が効きにくいやっかいな不整脈ですが、一方でアブレーション治療が極めて有効です。

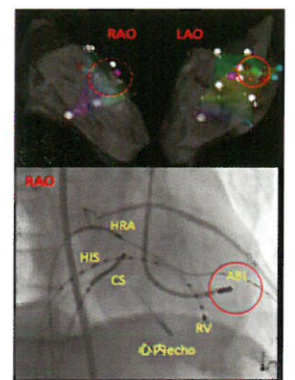


#### ③ 発作性上室性頻拍

若年から中年にかけて発症し、中には幼少期や10歳台から発症することもあります。何種類もあり、WPW症候群とよばれる不整脈も含まれています。いずれのタイプも脈拍が130-200回/分と速く、強い『ドキドキ』を伴うことが多いです。心臓の中の異常な回路をぐるぐる回り続ける不整脈で、その殆どがカテーテルアブレーション治療で完全に治せます。

#### ④ 心室性期外収縮

無症状のことが多く健診で初めてみつけるケースも多いです。中には『ドキドキ』や脈の乱れでわかることもあります。不整脈が多い場合は心臓の機能を悪化させ、致死性不整脈に至る場合もあります。アブレーション治療が有効ですので、早期にご相談ください。



心室性期外収縮の  
アブレーション治療

#### ⑤ 心室頻拍/心室細動

いずれも致死性不整脈と呼ばれる怖い不整脈です。どちらも失神、心肺停止に至る可能性があります。心室細動は死に直結します。もともと心臓になんらかの異常をもっていることが多いですが、特に異常がない(特発性)こともあります。抗不整脈薬、埋込型除細動器(ICD)、アブレーション治療などを組み合わせて治療しつつ、原因の究明をする必要があります。

以上、比較的好くみられる代表的な不整脈を挙げてみました。他にもたくさん不整脈はありますが、ほとんどの不整脈でアブレーション治療が可能となってきました。胸のドキドキがあるときは、気軽に当院へお越し下さい。一緒に皆さん一人一人に合った最適な治療を考えていきましょう。